

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	妻鹿興商株式会社	代表者	妻鹿 修身	法人・事業所の特徴	ふれ愛ホームひだまりは、播州地方を代表する秋祭り「灘のけんか祭り」で有名な松原八幡神社の鳥居の前に、グループホーム・サービス付き高齢者向け住宅に併設して建てられている。建物は平屋建て和風建築で、天窗や吹き抜けから暖かい陽光が降り注いでいる。利用者の自立・利用者本位を柱に、認知症であっても地域住民として対等・平等な生活を享受するノーマライゼーションの実現と共に地域福祉に貢献するという目標を掲げ、意欲的に取り組んでいる。
事業所名	ふれ愛ホーム ひだまり	管理者	妻鹿 修身		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2人	人	人	3人	1人	人	5人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員全体で自己評価の改善計画に取り組み、質の向上に努める。	全職員で自己評価を行い質の向上のため、意見を出し合い改善に努めた。	・日々の業務の中で常勤及び非常勤を含む全職員で自己評価が行われ活発な意見交換をされていることが確認できた。	全職員で自己評価の改善計画に取り組み、よりよい事業所となるように努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	環境を整え、ご家族や地域の方々が気軽に訪れられる事業所にしていく	感染症の影響から気軽に事業所に訪れられる取組みが難しかったが、家族の面会は感染対策を行い実施している。	・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、気軽に事業所に訪れられることが難しかったと思われる。 ・今後も感染症対策を講じながら、安心して利用者様が多くの交流が持てる環境づくりに期待したい。	衛生管理を引き続き徹底し、利用者様が安心して過ごせる環境を作っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の繋がりが切れないよう、地域との顔なじみの関係づくりをより推進していく	・行事・イベントの参加は感染症の影響により参加できていない。 ・毎日の散歩等で地域の方々との挨拶を行い、相談ごとがあった場合は対応できるように努めてい	新型コロナウイルス感染症の影響から、地域とのつながりが希薄になりつつある。 ・今後は、ホームが地域の資源として、地域の方々の役に立つ取り組み	地域の方々に頼られる事業所を目指し、現在行っていることを発信していく。

		る。	が期待されます。	
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	利用者が地域に出向いて暮らし を続けられるよう、職員間の情 報共有を図っていく	感染症の影響もあり地域の行事・ イベントは参加できていないが、 毎日の散歩、舞踊教室、季節のイ ベントを楽しんで頂けた。	・感染症の影響も少しずつ緩和さ れる中、出来ることを少しずつ増や していくことが重要だと思われる。 ・出向くことの大切さも重要だが、 利用者さんの要望を取り入れるこ とによって、利用者さんの生活も充 実するのではないかと。	・利用者様の要望を取り入れ、 楽しめるレクリエーションを実 施していく。 ・地域のイベント・行事の参加 が可能になれば、感染対策に努 めながら参加していく。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	運営推進会議での意見を職員間 で情報共有し、分からないことが あれば アドバイスを頂く	運営推進会議では、施設の状況の 報告を行い、また利用者の方から も提案を頂いた。	・継続してご家族さんへの参加を していただけるよう依頼をお願い したい。 ・運営推進会議のテーマをもう少し 検討し、意見が出やすい工夫を してみたい。	運営推進会議で頂いた意見・疑問を 改善につなげ、事業に反映してい く。
F. 事業所の 防災・災害対策	水害・地震に対する防災対策を 強化していく	火災訓練・水害を想定した避難訓 練等を実施し、災害に対する意識 向上に努めた。	・介護報酬の改定に伴い、BCP（ 事業継続計画）の策定が義務付けら れるため、今後は、計画に沿った取 組みが重要だと思われる。	職員一人一人が的確な対応がで きるように、日頃から災害対策 への意識を高める。